

令和7年度 仙台市若林障害者福祉センター防災訓練を実施しました

令和7年11月27日

仙台市若林障害者福祉センター

去る令和7年11月26日（水）、消防設備保守点検業者立ち合いの下、今年度2回目の防災訓練を実施し、当センターのご利用者様を含め、26名が参加しました。

今回は、午前10時30分頃、宮城県沖を震源とする強度6強の地震が発生したことを想定して、避難訓練を行いました。緊急地震速報アラートが鳴動後、避難誘導の館内放送の後避難を行いました。

避難完了後、業者より避難及び避難誘導を行う際の注意点や、火災が起きた場合の初期消火活動時のポイント等についてご講話をいただき、迅速な避難活動に関する学びを深めることができました。

避難訓練後は、非常用放送設備機器操作訓練と水消火器を用いた消火訓練を実施しました。

参加者からは「定期的に参加させていただいているが、逃げ遅れた人がいないかの確認など、やるべきことを覚えていないので、定期的に訓練して、やるべきことを確認していきたい」「何度も訓練していても、手順を確認しないと忘れてしまっていた。消火器の扱いなども、前に一度やったから大丈夫ではなく、何度も訓練して思い出す、備える、ポイントを理解することが必要だと思った」など積極的な感想が出ました。

今後も様々な災害を想定して訓練を行い、有事の際に迅速に対応できるよう体制強化に努めてまいります。

